

日本水泳史上初！シンクロ初！輝く

世界水泳

金メダル

立花武田組

シンクロデュエットの部で金メダルをとった立花（手前）武田ペアの演技 切り込み写真は金メダルを手に喜びいつぱいの立花（右）武田ペア「マリンメッセ福岡」



世界水泳

20日＝5日目 マリンメッセ福岡
シドニー五輪銀メダルの立花美哉（26）
武田美保（24）とも井村シンクロ組が、合計98・910点で初優勝し、日本水泳史上初めて世界水泳の金メダルに輝いた。シンクロで日本選手の優勝は五輪を含めても初めて。
予選1位で決勝のフリールーティンに臨んだ立花、武田組は、コミカルな演技で高得点を出し、98・390点で2位のアナスタシア・タビトワ、アナスタシア・エルマコワ組（ロシア）を退けた。
立花は、ソロの3位に続く今大会2個目のメダル。世界選手権で通算7個目のメダルとなり、シンクロでは史上最多、他の種目を含めても最多タイ記録となった。
シンクロの日本勢はこれまで五輪で2度、世界選手権で7度、2位があり、アジアで初めての世界選手権で悲願を達成した。

7月20日
金曜日
2001年
(平成13年)
21:30

日刊スポーツ
NIKKAN SPORTS